

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期	1,776,000株	2019年12月期	1,776,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期	59,410株	2019年12月期	1,410株
③ 期中平均株式数	2020年12月期	1,755,190株	2019年12月期	1,774,590株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年12月期の個別業績（2020年1月1日～2020年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期	5,004	△8.6	288	△29.3	390	△11.4	260	△16.3
2019年12月期	5,473	3.9	408	160.3	440	128.2	311	126.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年12月期	148.33		—					
2019年12月期	175.29		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年12月期	5,309		3,250		61.2	1,893.73		
2019年12月期	4,952		3,109		62.8	1,752.47		

(参考) 自己資本 2020年12月期 3,250百万円 2019年12月期 3,109百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 企業集団の状況	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と、それに伴う自粛の影響により経済活動が抑制され、企業活動や個人消費等が急速に減少していることに加え、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで当社グループは、積極的な営業活動に取り組み、技術開発力の強化、経費の節減等諸施策を積極的に展開いたしました。当連結会計年度の業績は、売上高50億円（前年同期比8.6%減）、経常利益4億円（同11.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2億63百万円（同16.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

鋼製品関連事業部門の売上高は13億98百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は2億円（前年同期比27.7%増）となりました。耐火性だけでなく、情報保護、防盜性強化等多様化する顧客ニーズに対応するため、操作履歴機能付指紋認証キーボックス、指紋認証耐火金庫、データメディア耐火金庫等高付加価値製品の販売促進等積極的な営業展開に努めました結果、前年実績を上回りました。

デンタル関連事業部門の売上高は15億49百万円（前年同期比8.0%減）、営業利益は1億8百万円（前年同期比20.6%減）となりました。各種歯科用ユニット等の新規開拓及び買替需要に対する営業活動等積極的に展開いたしました。前年実績を下回りました。

書庫ロッカー関連事業部門の売上高は17億1百万円（前年同期比14.7%減）、営業利益は1億46百万円（前年同期比34.6%減）となりました。札幌工場・川島工場の生産性向上、新規開拓推進等に努めました。前年実績を下回りました。

OAフロア関連事業部門の売上高は47百万円（前年同期比47.9%減）、営業利益は8百万円（前年同期比32.3%減）となりました。

不動産賃貸関連事業部門の売上高は2億18百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は1億79百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

その他の事業の売上高は85百万円（前年同期比16.5%減）、営業利益は20百万円（前年同期比12.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

イ 資産

流動資産は31億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金の増加2億69百万円、受取手形及び売掛金の増加40百万円、流動資産その他の増加18百万円等により、3億14百万円増加しました。

固定資産は22億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ、機械装置及び運搬具の減少23百万円、投資有価証券の減少32百万円、退職給付に係る資産の増加1億12百万円等により、56百万円増加しました。

ロ 負債

流動負債は16億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金の減少1億32百万円、未払金の増加2億71百万円、未払法人税等の増加23百万円、未払消費税等の増加76百万円、流動負債その他の減少53百万円等により、1億82百万円増加しました。

固定負債は3億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ、繰延税金負債の増加34百万円、役員退職慰労引当金の増加6百万円により、41百万円増加しました。

ハ 純資産

純資産合計は33億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金の増加2億10百万円、自己株式の増加61百万円等により、1億47百万円増加しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前年同期に比べ2億69百万円増加し14億89百万円(22.1%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益3億84百万円、減価償却費85百万円、たな卸資産の減少額7百万円、未払消費税等の増加額76百万円等の収入があった一方、退職給付に係る資産の増加額1億12百万円、売上債権の増加額33百万円、仕入債務の減少額1億32百万円、法人税等の支払額65百万円等の支出があったことにより、4億48百万円の収入(前年同期は4億7百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入16百万円等の収入があった一方、有形固定資産の取得による支出71百万円、投資有価証券の取得による支出5百万円等の支出があったことにより、63百万円の支出(前年同期は62百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出61百万円、配当金の支払額53百万円等により、1億15百万円の支出(前年同期は53百万円の支出)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
自己資本比率(%)	58.8	61.5	61.3	62.8	61.2
時価ベースの自己資本比率(%)	82.2	78.9	36.9	47.1	36.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	1,599.3	238.9	1,834.1	1,533.7	1,970.3

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

当社グループとしては、引き続き高品質・低コストの生産体制の確立、営業活動の強化、新製品の開発、管理部門の効率化に取り組み、業績の向上に努める所存であります。次期の連結業績見通しにつきましては、売上高50億円、営業利益2億60百万円、経常利益2億85百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2億円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、配当金につきましては、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続して実施することを基本方針としており、1株当たり30円の期末配当を予定しております。

内部留保金につきましては、経営体質の一層の充実ならびに市場ニーズに応える製品開発体制の強化を図るために、有効投資してまいりたいと考えております。

2. 企業集団の状況

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は、当社及び連結子会社1社(㈱ビアンエアージャパン)で構成され、鋼製品関連、書庫ロッカー関連及び、歯科医療機器関連の製造販売並びに建物賃貸等の事業活動を行っております。

当社グループの事業における位置付け及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。なお、以下に示す区分はセグメントと同一の区分であります。

鋼製品関連……………耐火金庫の製造販売及び手提金庫の仕入販売

当社が製造及び仕入販売しております。

デンタル関連……………歯科医療機器の製造及び仕入販売

当社が製造及び仕入販売しております。

歯科部品の一部は、連結子会社(㈱ビアンエアージャパン)から仕入れております。

書庫ロッカー関連…書庫ロッカーの製造販売

当社が製造販売しております。

OAフロア関連……………OAフロアの製造販売

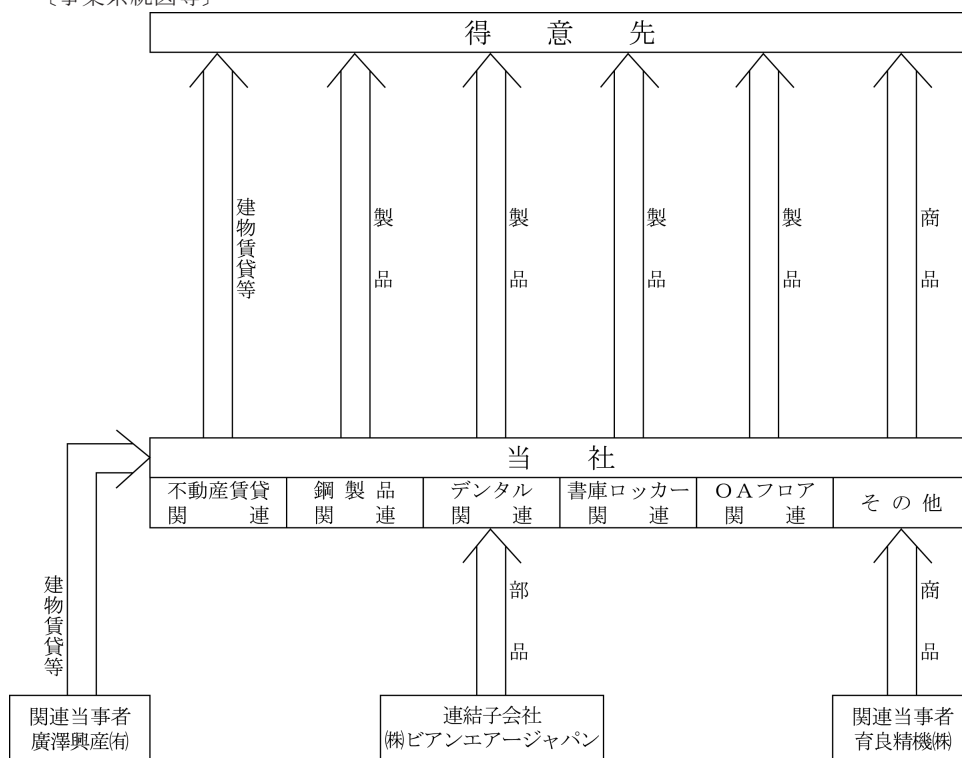
当社が製造販売しております。

不動産賃貸関連……………建物の賃貸等

その他……………工具の販売等

当社が仕入販売しております。

[事業系統図等]



3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,219,999	1,489,946
受取手形及び売掛金	1,342,825	1,383,174
電子記録債権	41,620	34,940
商品及び製品	94,226	93,446
仕掛品	17,978	19,647
原材料	111,272	103,196
その他	2,585	20,856
流動資産合計	2,830,508	3,145,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	357,787	350,430
機械装置及び運搬具（純額）	167,365	144,160
土地	980,731	980,731
その他（純額）	10,476	13,828
有形固定資産合計	1,516,361	1,489,151
無形固定資産		
ソフトウェア	2,182	4,906
無形固定資産合計	2,182	4,906
投資その他の資産		
投資有価証券	151,610	119,501
退職給付に係る資産	417,994	530,250
敷金及び保証金	84,208	84,603
その他	310	310
投資その他の資産合計	654,122	734,665
固定資産合計	2,172,666	2,228,723
資産合計	5,003,175	5,373,932

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	897,384	764,461
未払金	146,505	418,382
未払法人税等	78,109	102,044
未払消費税等	70,239	146,339
賞与引当金	52,830	49,461
その他	255,042	201,612
流動負債合計	1,500,111	1,682,302
固定負債		
繰延税金負債	188,795	223,359
役員退職慰労引当金	62,367	69,195
その他	59,547	59,547
固定負債合計	310,709	352,101
負債合計	1,810,821	2,034,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,800	1,090,800
資本剰余金	64,000	64,000
利益剰余金	1,955,857	2,166,130
自己株式	△2,438	△63,707
株主資本合計	3,108,218	3,257,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,416	30,416
その他の包括利益累計額合計	35,416	30,416
非支配株主持分	48,719	51,888
純資産合計	3,192,354	3,339,528
負債純資産合計	5,003,175	5,373,932

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,469,719	5,000,962
売上原価	3,860,511	3,563,420
売上総利益	1,609,208	1,437,542
販売費及び一般管理費	1,189,736	1,137,411
営業利益	419,471	300,131
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3,807	3,887
受取保険金	6,699	24,199
助成金収入	—	16,234
作業くず売却益	16,278	13,140
受取補償金	—	36,383
その他	4,934	6,671
営業外収益合計	31,719	100,516
営業外費用		
手形売却損	265	227
支払手数料	—	58
その他	795	—
営業外費用合計	1,061	286
経常利益	450,129	400,361
特別損失		
固定資産売却損	—	1,902
固定資産除却損	247	46
投資有価証券売却損	—	14,288
特別損失合計	247	16,236
税金等調整前当期純利益	449,882	384,124
法人税、住民税及び事業税	96,927	79,924
法人税等調整額	35,139	36,770
法人税等合計	132,066	116,694
当期純利益	317,815	267,430
非支配株主に帰属する当期純利益	3,752	3,919
親会社株主に帰属する当期純利益	314,063	263,511

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	317,815	267,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,046	△4,999
その他の包括利益合計	1,046	△4,999
包括利益	318,862	262,430
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	315,110	258,511
非支配株主に係る包括利益	3,752	3,919

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,090,800	64,000	1,695,031	△2,438	2,847,392
当期変動額					
剰余金の配当			△53,237		△53,237
親会社株主に帰属する当期純利益			314,063		314,063
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	260,825	—	260,825
当期末残高	1,090,800	64,000	1,955,857	△2,438	3,108,218

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34,369	34,369	45,717	2,927,479
当期変動額				
剰余金の配当				△53,237
親会社株主に帰属する当期純利益				314,063
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,046	1,046	3,002	4,048
当期変動額合計	1,046	1,046	3,002	264,874
当期末残高	35,416	35,416	48,719	3,192,354

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,090,800	64,000	1,955,857	△2,438	3,108,218
当期変動額					
剰余金の配当			△53,237		△53,237
親会社株主に帰属する当期純利益			263,511		263,511
自己株式の取得				△61,268	△61,268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	210,273	△61,268	149,005
当期末残高	1,090,800	64,000	2,166,130	△63,707	3,257,223

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	35,416	35,416	48,719	3,192,354
当期変動額				
剰余金の配当				△53,237
親会社株主に帰属する当期純利益				263,511
自己株式の取得				△61,268
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,999	△4,999	3,169	△1,830
当期変動額合計	△4,999	△4,999	3,169	147,174
当期末残高	30,416	30,416	51,888	3,339,528

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	449,882	384,124
固定資産売却損	—	1,902
減価償却費	85,443	85,365
固定資産除却損	247	46
賞与引当金の増減額 (△は減少)	677	△3,368
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△142,383	△112,256
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,467	6,828
受取利息及び受取配当金	△3,808	△3,887
支払利息及び手形売却損	265	227
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	4,615	9,203
売上債権の増減額 (△は増加)	54,379	△33,668
たな卸資産の増減額 (△は増加)	24,297	7,186
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,713	△132,923
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	14,288
未払消費税等の増減額 (△は減少)	23,739	76,100
その他	△4,369	210,945
小計	457,739	510,114
利息及び配当金の受取額	3,808	3,887
利息の支払額	△265	△227
法人税等の支払額	△54,025	△65,192
営業活動によるキャッシュ・フロー	407,257	448,581
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,607	△71,735
有形固定資産の売却による収入	—	2,727
投資有価証券の取得による支出	△6,015	△5,535
投資有価証券の売却による収入	—	16,149
無形固定資産の取得による支出	—	△4,570
その他	△251	△394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,873	△63,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△61,268
配当金の支払額	△53,113	△53,257
非支配株主への配当金の支払額	△750	△750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,863	△115,276
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	290,519	269,946
現金及び現金同等物の期首残高	929,479	1,219,999
現金及び現金同等物の期末残高	1,219,999	1,489,946

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の分配の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に「鋼製品関連事業」「デンタル関連事業」「書庫ロッカー関連事業」「OAフロア関連事業」「不動産賃貸関連事業」の5つを報告セグメントとしております。「鋼製品関連事業」は、主に企業から一般家庭まで幅広い分野に対応した耐火金庫の製造・販売を行っております。「デンタル関連事業」は、歯科医療に関する設備・機器類を扱っており、主に歯科ユニットの製造・販売を行っております。「書庫ロッカー関連事業」は、コインロッカーなどの金属性多目的収納庫の製造・販売を行っております。「OAフロア関連事業」は、オフィス内の配線無くし、快適な空間を提供するOAフロア設備の製造・販売を行っております。「不動産賃貸関連事業」は、建物等の賃貸を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	鋼製品 関連事業	デンタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	OAフロア 関連事業	不動産賃貸 関連事業	計				
売上高										
1. 外部顧客への売上高	1,379,796	1,685,481	1,994,805	90,516	216,360	5,366,959	102,760	5,469,719	—	5,469,719
2. セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	19,162	—	3,312	22,474	—	22,474	△22,474	—
計	1,379,796	1,685,481	2,013,967	90,516	219,672	5,389,433	102,760	5,492,194	△22,474	5,469,719
セグメント利益	157,212	136,875	223,937	11,847	174,714	704,586	23,691	728,277	△308,806	419,471
セグメント資産	489,839	340,848	1,169,921	4,999	374,061	2,379,669	3,628	2,383,297	2,619,877	5,003,175
その他の項目										
1. 減価償却費	8,859	9,479	43,974	193	20,158	82,665	39	82,705	2,737	85,443
2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,214	2,564	19,628	—	—	24,406	—	24,406	—	24,406

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工具の販売等を行っております。

2 (1) セグメント利益の調整額△308,806千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,619,877千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント負債の金額は、当社の取締役会で定期的に提供・使用されております。

当連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財 務諸表 計上額 (注)3
	鋼製品 関連事業	デジタル 関連事業	書庫ロッカー 関連事業	OAフロア 関連事業	不動産賃貸 関連事業	計				
売上高										
1. 外部顧客への売上高	1,398,059	1,549,964	1,701,906	47,149	218,074	4,915,155	85,807	5,000,962	—	5,000,962
2. セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	18,881	—	3,312	22,193	—	22,193	△22,193	—
計	1,398,059	1,549,964	1,720,787	47,149	221,386	4,937,348	85,807	5,023,155	△22,193	5,000,962
セグメント利益	200,710	108,723	146,462	8,015	179,149	643,061	20,686	663,748	△363,617	300,131
セグメント資産	582,055	410,471	1,175,612	7,569	378,060	2,553,769	0	2,553,769	2,820,163	5,373,932
その他の項目										
1. 減価償却費	13,863	8,520	41,928	193	17,446	81,952	—	81,952	3,413	85,365
2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額	24,098	1,280	17,257	—	18,290	60,926	—	60,926	18,290	79,216

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工具の販売等を行っております。

2 (1) セグメント利益の調整額△363,617千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額2,820,163千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント負債の金額は、当社の取締役会で定期的に提供・使用されておりません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり純資産額	1,771.47円	1,915.22円
1株当たり当期純利益	176.98円	150.13円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	314,063	263,511
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	314,063	263,511
普通株式の期中平均株式数 (千株)	1,774	1,755

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年12月31日)	当連結会計年度末 (2020年12月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	3,192,354	3,339,528
普通株式に係る純資産額 (千円)	3,143,634	3,287,639
差額の内訳		
非支配株主持分 (千円)	48,719	51,888
普通株式の発行済株式数 (千株)	1,776	1,776
普通株式の自己株式数 (千株)	1	59
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (千株)	1,774	1,716

(重要な後発事象)

該当事項はありません。